

WE LOVE 北鯖石 はばたこう未来へ！

# 北 星



柏崎市立北鯖石小学校

学校だより 378号

令和2年 9月20日 発行

柏崎市 中田1743-2

TEL 0257-22-4454

FAX 0257-20-1753

E-mail [kitasaba@kenet.ed.jp](mailto:kitasaba@kenet.ed.jp)

## 持続可能な社会の創り手を育む教育活動

### 保護者の声から（学校評価アンケート）から

7月に行われた学校評価のアンケートの中で、コロナ禍の教育活動について、意見を求めたところ、以下のような声が寄せられました。（主なもの）

A児保護者：不運な状況ではあるが、ポジティブに考えれば、子どもの時期にこの現状を経験するだけでも大切な経験だと思う。行政の対応に合わせて生活する、家庭・地域・学校に何も感じない、考えない、言われたからという子どもたちにはなってほしくない。

B児保護者：コロナで国内外の工場がストップしたとき、環境汚染が止まり、生態系が戻ってきたり、空の様子が違ったり、花粉症が軽かったり、夕日の色がピンクでなく本来のオレンジだった。家ではそこから気候変動などを話題にした。自然環境の変化が分かりやすかったので、授業で話題に取り上げたらいいなと思う。

上記の意見を受け、改めてE S D教育に取り組む必要があると考え、以下のことを実践しています。

#### 1 校長講話（夏休みを迎える会において）

夏休みを迎える会の講話で、子どもと職員にも改めてE S Dの取組について理解を深めてもらうために次のような話をしました。

- E S Dは持続可能な社会の作り手を育てる教育であるが、今の私たちと私たち子孫、人類が持続可能ということであり、いのちを守る教育であること。
- 長年人類を苦しめてきたこととして、病気の流行、食糧不足、戦争があり、その解決のために、自然・地域・せかい・いのちについて力を入れて学習していること。
- 新型コロナウイルスの流行が取り上げられているが、新しい病気はこれからも発生する恐れがある。その解決には、地域・せかいが協力していくこと、自然界と適切にかかわっていくことが大切である。

#### 2 E S Dの視点から教育活動を再確認

当校では、各行事等の計画において、ねらいにE S Dの視点を入れ計画されています。また、生活、総合的な学習の時間の活動内容については、E S Dに関連した学習内容が多く組まれています。テレビや新聞等で紹介された第4学年の「お魚救助隊」も環境教育の一環です。コロナ禍の機会に、改めて、E S Dについて共通理解したり、計画の見直しや意見交換をしたりします。

#### 3 ICT活用

コロナ禍において、日本のI T未発達が顕著になり、今後発展する分野であると思われます。また、タブレット端末の児童一人一台支給を踏まえ、児童・保護者に慣れ親しんでいただく必要があると考えています。

5月末、児童会総会をZ o o mシステムにより各教室を結んで実施しました。同じくZ o o mを使って、発表朝会の様子を視聴していただくように保護者に依頼しました。1年生が「大きなかぶ」の朗読劇の発表をし、8名の保護者から視聴していただきました（児童数11名）。普段来校することが少ない祖父母の方からも参観していただきました。

#### 4 おわりに

平成29年公示の学習指導要領の前文には、「一人一人の児童が、持続可能な社会の創り手となること」が求められています。学習指導要領に沿った教育課程を確実に実践することが重要です。

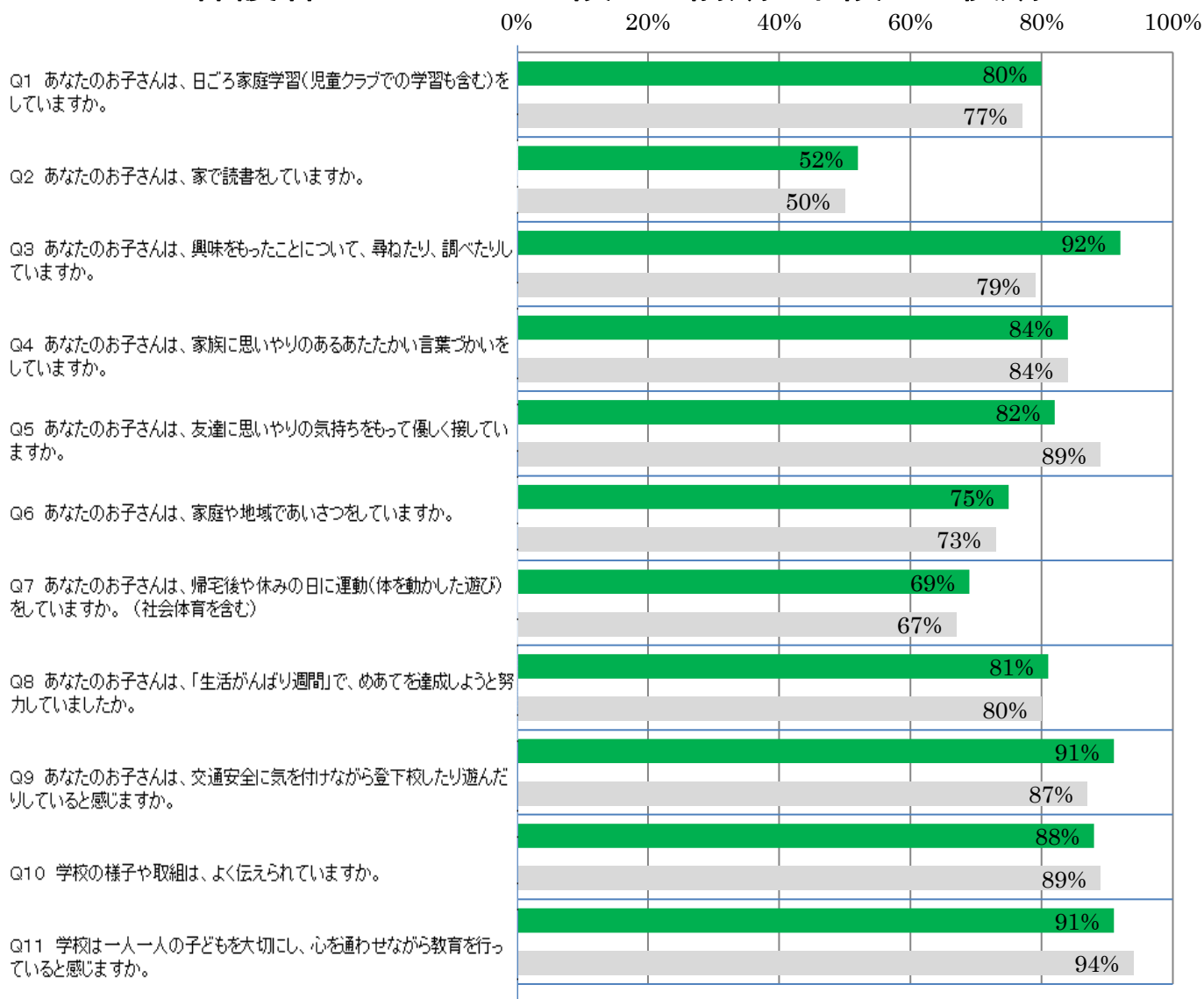
## ～第1回 学校評価の結果から～

7月に実施した教育活動評価(保護者アンケート・児童アンケート)の結果をお知らせします。ご多用の中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

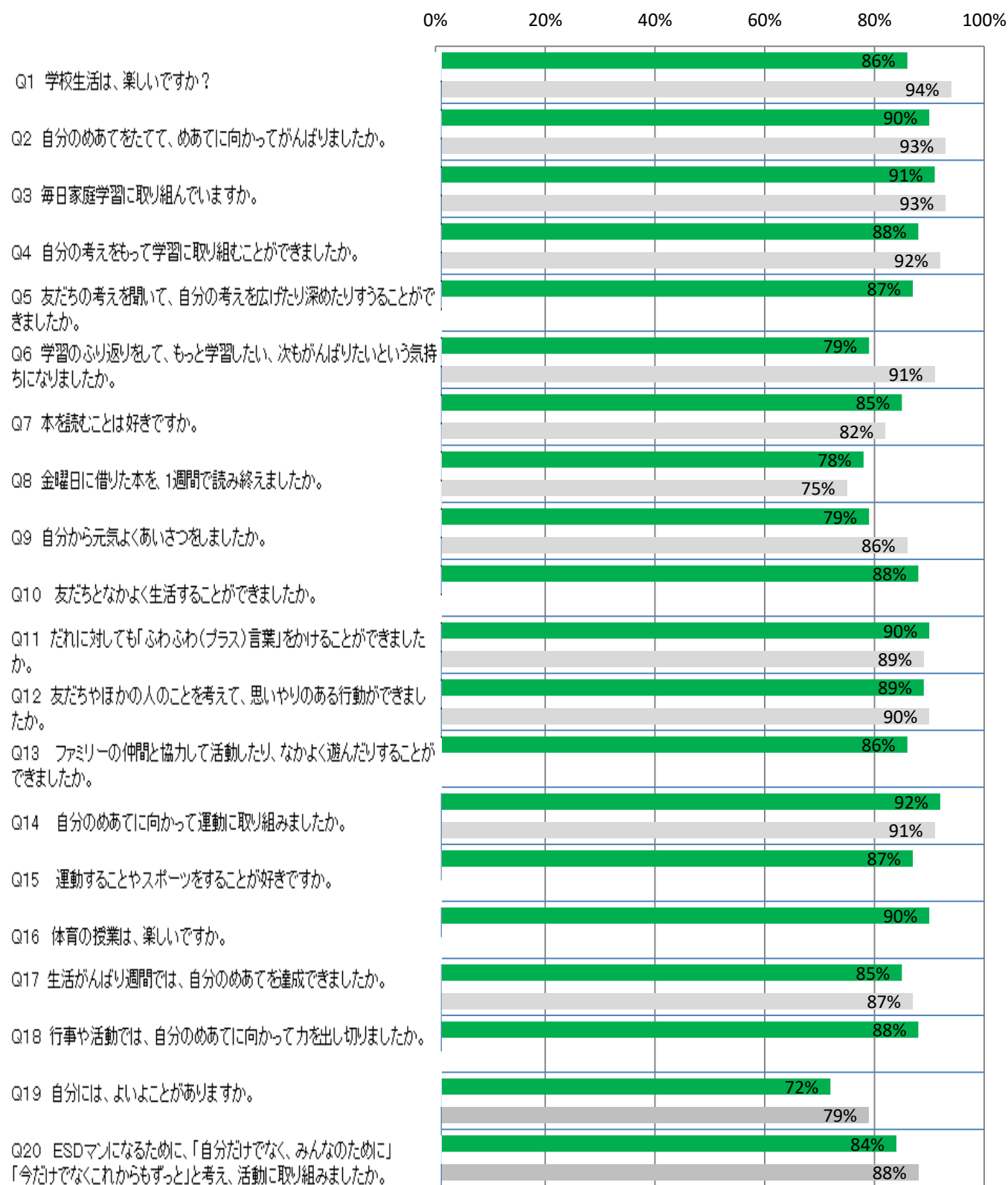
保護者アンケートでは、「興味をもったことについて調べる」の項目で肯定的評価の数値が伸びました。例年とは異なる状況の中、学校においても個でじっくりと考える時間や個の興味に沿った調べ学習等の時間が増え、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。「家庭学習」についても、肯定的評価の数値が伸びています。年度当初、休校の措置により学習習慣の定着が心配されましたが、ご家庭で丁寧に支援していただき、6月の全校テストに向けたがんばり週間では、めあてに向けて一生懸命自主学習に取り組む様子が見られました。

児童アンケートの結果は、学習に関する項目について高い評価を維持しています。昨年度なかった項目や、今年度の教育課程に合わせて項目内容を変更したものについては、昨年度の数値がありませんが、新しい項目の一つで、「体育の授業が楽しい」において、児童の肯定的評価がとても高かったです。様々な制限があった中で、これまで体験しなかったニュースポーツを取り入れ、工夫しながらの体育授業となりましたが、子どもたちは楽しそうに活動していました。今後の運動会・マラソン大会も、内容に一部変更はありますが、一人一人がめあてをもち達成感を味わえるような活動をめざします。

### 保護者アンケート 上段:R2前期 下段:R1後期



## 児童アンケート(上段:R2前期 下段:R1後期)



皆様からの評価や貴重なご意見をもとに、学校では教育活動の振り返りを行い、今後の教育活動に生かそうと取組を進めております。今後も何かお気付きの点やご意見等がありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。

## 保護者アンケート自由記述について

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。コロナウイルス感染症の影響で、イレギュラーな教育活動になり、ご不安な思いをされたことと思います。ただ、このような状況だからこそ、伝統的に当校で取り組んでいるESDの大切さも改めて感じることができました。貴重なご意見の中から一部ではありますが、ご紹介させていただきたいと思います。

### 4-Q12 新型コロナウイルス感染症の影響下、持続可能な社会を実現するための教育（ESD）のために、家庭・地域・学校はどのような取組を行っていかばよいと思われますか。

手洗いの励行を最低限していけば、今までの取組を続けていっても問題はないように感じる。家庭・地域・学校で情報共有し、子どもたちが柏崎を好きになっていける活動を望む。

→現在、地域の感染レベルは「レベル1」にあり、国や県のマニュアルに従い、体験活動を少しずつ始めています。体験活動をしているときの子どもは、生き生きしており、多くのことを学んでいます。「三密を避ける」「手洗い」などにしっかり取り組みながら、地域を好きになるような体験活動を進めていきたいと思っています。

### 5 ご意見、ご要望、お気づきの点等がありましたら、お書きください。

きめ細かく対応していただき感謝している。

コロナの影響で行事などが中止になり、学校生活の様子がよくわからないと感じている。学年だよりなどで、子どもたちの様子を知らせていただけるとありがたい。

→子どもの活動の様子をどのように保護者の皆様にお伝えするかが臨時休業期間からの課題でした。8月4日（火）の発表朝会で、1年生の発表をZoomシステムで1年生の保護者の皆様に試験的に視聴していただきました。しばらくは、密にならない状態での参観と、Zoomによる遠隔での参観を考えています。どちらの方法をとるかは、その都度お知らせいたします。学年だよりについては、概ね隔週で発行しています。子どもの様子が保護者の皆様に伝わるよう努めてまいります。

学校行事が縮小され、残念なこともあるが、不要なことはやらなくてもよいと思う。子どもたちの発表の場、成果の場は少しずつ戻すべきだと思うし、そのためにPTAが活動できれば、講演会や親子レク等必要ないのではと思った。

→PTAにおける働き方改革に関することかと思っています。三役の皆様を中心に話題にしていきたいと思っています。

地域の方やそれ以外の大人の方に「北鯖石小は元気や意欲がない」とよく言われる。地域性なのでしょうか。もっとのびのびと行動力や思いやりを身に付けてほしい。

→地域の皆様の学校への期待の大きさを感じました。今年度は地域に出かけたり、地域の方と触れ合ったりする活動が減少していますが、できることから進めていきたいと思っています。そして、家庭・地域・学校が連携しながら、行動力と思いやりを身に付けた子どもを育てていきたいと思います。

## お知らせ

当校の昭和49年度卒業生の皆様からご寄付をいただき、時計を購入させていただきました。玄関ホールに設置させていただきました。感謝申し上げます。



## 主な予定

月／日	予 定 等	月／日	予 定 等
9／26	運動会（9／27日予備日）	10／14	マラソン記録会 （10／16日予備日）
10／9	前期終業式		
10／13	後期始業式		

学校のホームページが随時更新されています。ご覧ください。<http://kedu.kenet.ed.jp/kitasaba/>